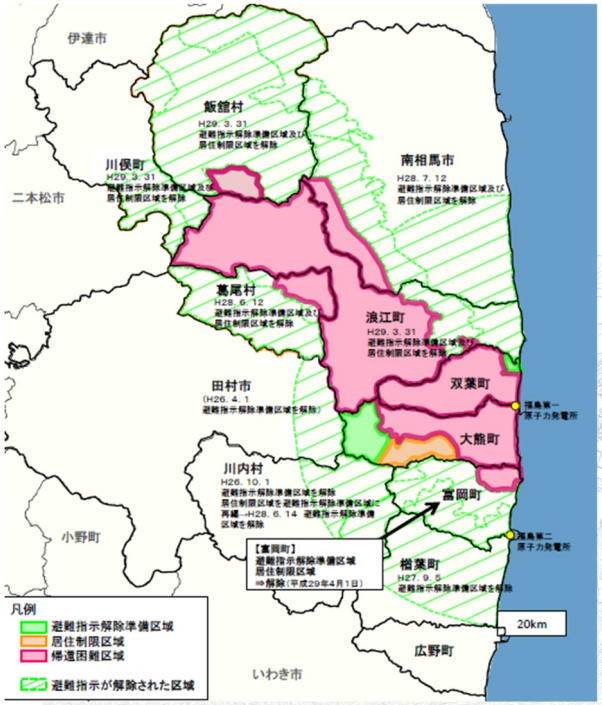
資料5

双葉町における取組及び関連事業の状況

平成29年10月

双　葉　町

双葉町の避難指示区域

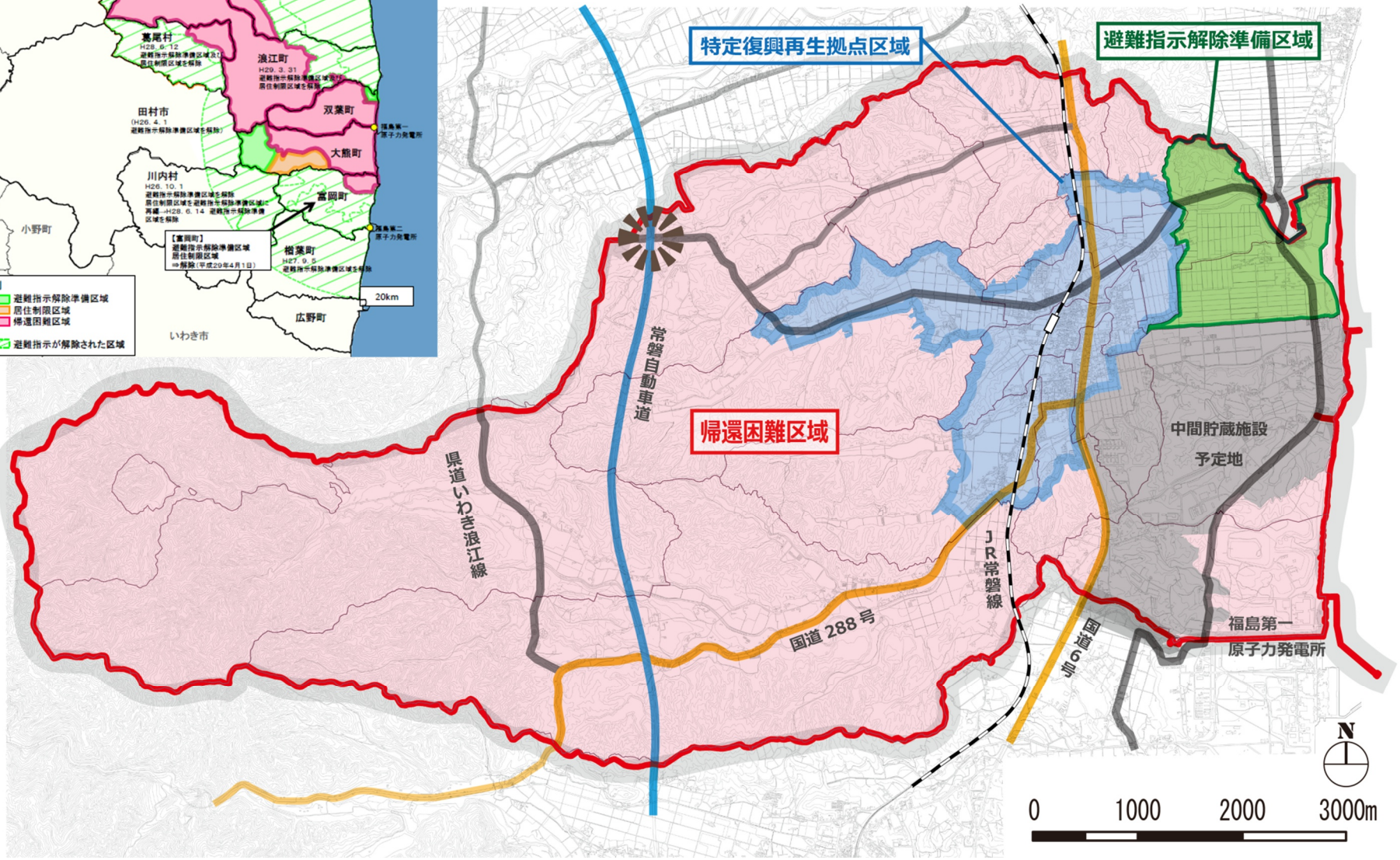


●各区域の世帯数・人口（平成23年3月31日現在）

帰還困難区域	2,524世帯 6,835人（約96%）
避難指示解除準備区域	87世帯 305人（約4%）

●避難の状況（平成29年8月31日現在）

福島県内に避難されている方	4,077人（約58.7%）
福島県外に避難されている方	2,863人（約41.3%）



復興まちづくりの基本構想 ー双葉町復興まちづくり計画（第二次）ー

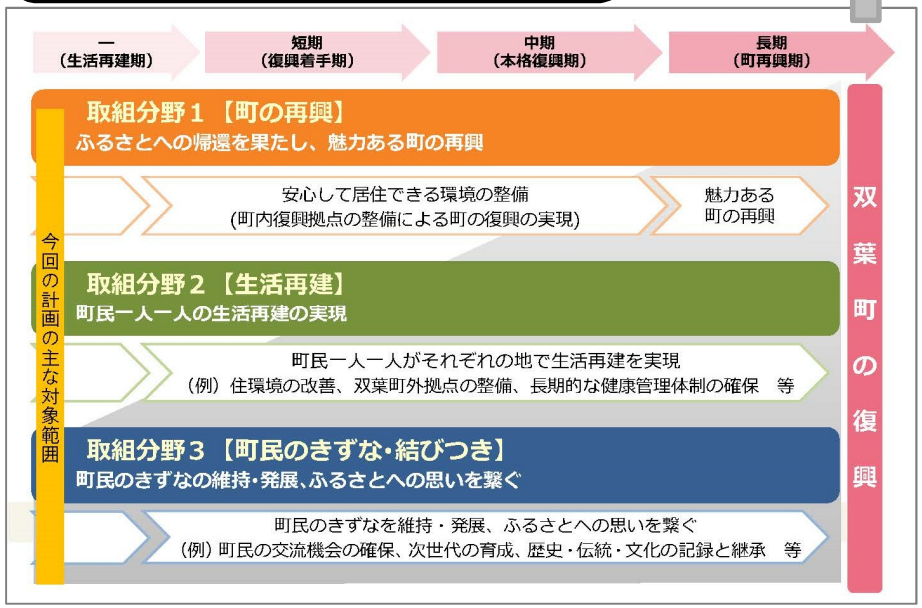
基本理念

“町民一人一人の復興”　“町の復興”

基本目標

- **町の再興**　子供たちの未来のために　とりもどそう　美しいふるさと双葉町
- **生活再建**　暮らしの復興をめざして　みんなで頑張ろう　双葉町
- **町民のきずな・結びつき**　つなげよう　つながろう　双葉町

復興・再興に向けた3つの取組分野



復興まちづくりの3つの視点

- ◆ 多様な立場・考えの相互理解、町民一人一人の選択の尊重
- ◆ 民間と行政との協働による町民の力の結集
- ◆ 広域連携による双葉郡の力の結集

施策体系図

基本理念：“町民一人一人の復興”と“町の復興”をめざして

3つの取組分野	復興に向けた各種取組	
【町の再興】ふるさとへの帰還を果たし、魅力ある町の再興 魅力あるふるさと双葉町の再興に向けた、まちづくりの基本的な考え方について整理。	①ＪＲ双葉駅周辺における「住む拠点」の整備	●新市街地ゾーン ●まちなか再生ゾーン
	②中野・両竹地区における「働く拠点」の整備	●新産業創出ゾーン ●再生可能エネルギー・農業再生モデルゾーン
	③浜野地区における「発信拠点」の整備	●被災伝承・復興祈念ゾーン
	④町内復興拠点の広がりとしての段階的な整備	●耕作再開モデルゾーン ●共同墓地の整備
	⑤関連インフラの整備	●復興シンボル軸（県道井手長塚線等）の整備等 ●海岸堤防・防災林 ●町道、上下水道の整備
【生活再建】町民一人一人の生活再建の実現 不自由な避難生活の改善と、自立した生活を再建し、健康的で生き生きとした生活を実現していくための取組について整理。	①不自由な避難生活の改善に向けた取組	●住環境の改善 ●双葉町外拠点の整備
	②自立した生活の再建に向けた取組	●生活の再建 ●事業活動支援と就業支援
	③健康的で生き生きとした生活の実現に向けた取組	●保健・医療・介護・福祉体制の確保 ●高齢者等の健康・生きがいづくり
【町民のきずな・結びつき】町民のきずなの維持・発展、ふるさとへの思いを繋ぐ 町民のきずなを維持・発展させ、次世代を育み、ふるさとを繋いでいくための取組について整理。	①町民のきずなの維持・発展に向けた取組	●町民の交流機会の確保 ●町からの情報提供の充実・円滑化
	②次世代を育み、ふるさとを繋いでいくための取組	●双葉町を担う次世代の育成 ●教育環境の充実 ●ふるさとの荒廃防止等 ●双葉町の歴史・伝統・文化の記録と継承 ●震災・事故の教訓と復興の過程の記録・発信・伝承

双葉町内の帰還環境整備の進め方イメージ

双葉町内復興拠点の集中整備

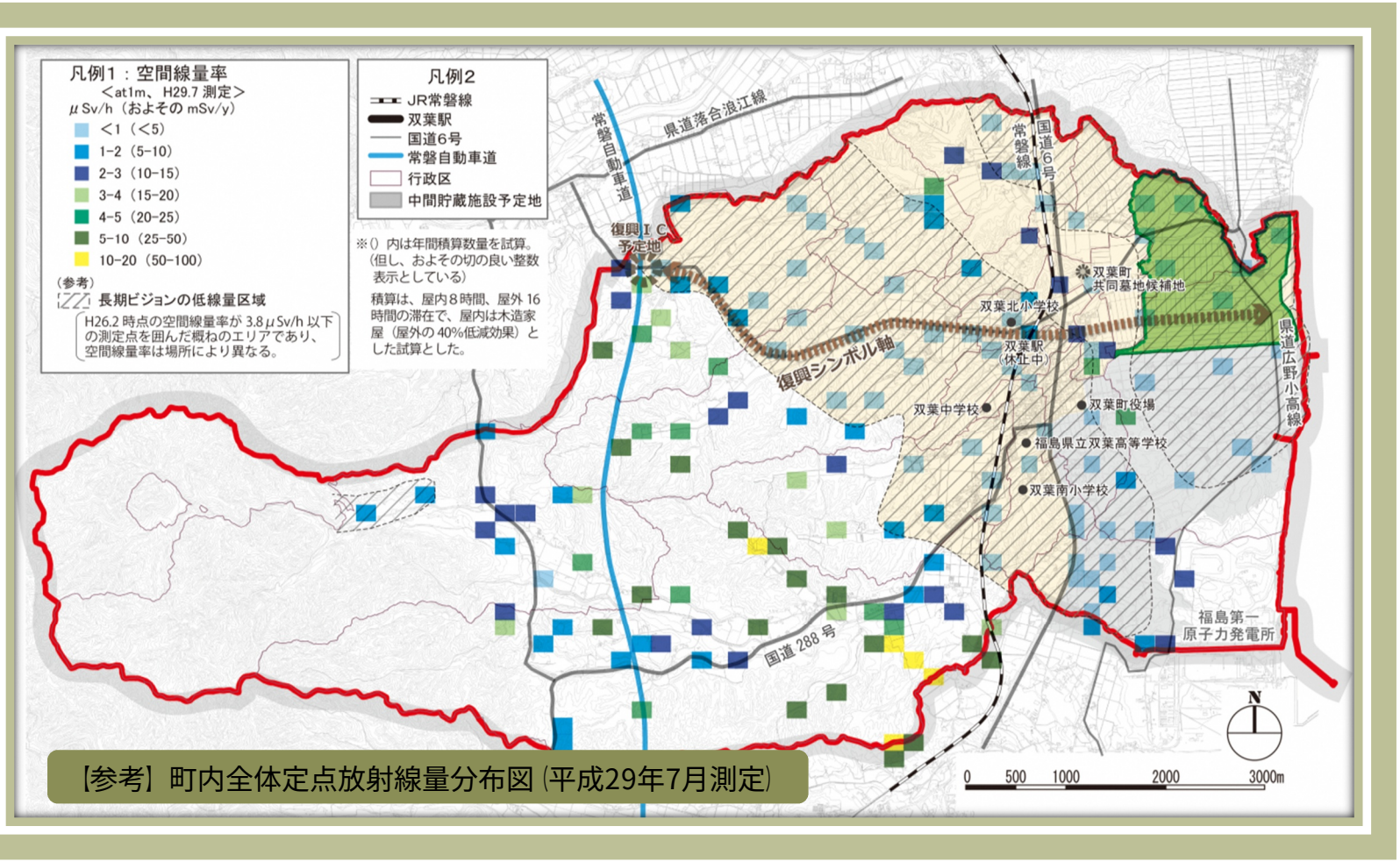
震災前の双葉町の姿や、これまでの復興まちづくり計画を踏まえ、まずは当面5年程度に取り組む「特定復興再生拠点区域」を設定し、避難指示解除準備区域における復興事業と併せて帰還困難区域における復興事業を集中的に推進

復興拠点の低線量区域への段階的な拡張

「特定復興再生拠点区域」の整備の進捗状況等を踏まえ、拠点の区域を低線量区域に徐々に拡張

双葉町全域の再興に向けた取組

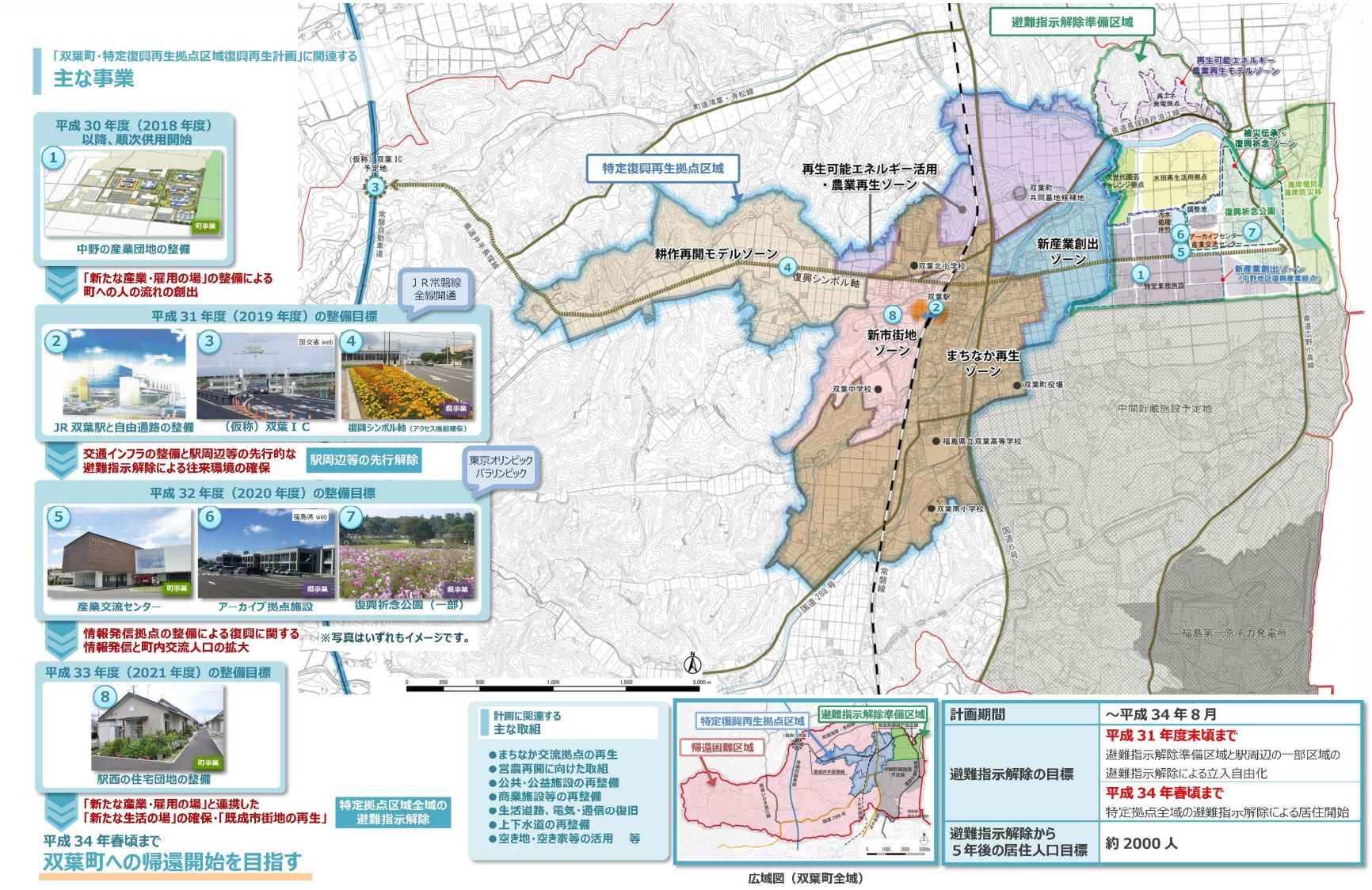
双葉町全域の復興に向け、帰還困難区域全域の避難指示解除への決意を示した国・県と連携しながら、今後の放射線量の低減の状況を踏まえ、中長期的に取組を推進



【参考】町内全体定点放射線量分布図（平成29年7月測定）

双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画の概要

- 将来的な町内全域の居住環境整備に向けた第一歩として、震災前の双葉町の姿やこれまでの復興まちづくり計画を踏まえ、「特定復興再生拠点区域」を設定
- 魅力ある住環境と確固たる産業基盤を兼ね備えた町の再興を図るため、避難指示解除準備区域に「新たな産業・雇用の場」となる復興産業拠点の整備等を行い、町への人の流れを創出するとともに、JR双葉駅を中心とする町内の低線量区域に「新たな生活の場」の確保と「既成市街地の再生」を推進



双葉町内の取り組み状況　(平成29年9月末現在)

双葉町内復興拠点の　　ンフラの整備

常磐自動車道双葉IC (仮称) 整備

復興シンボル軸と合わせ広域道路ネットワーク形成のためのICの整備

・H29. 6 整備工事着手
≪H31年度末供用開始予定≫

共同墓地の整備

津波被災地域・中間貯蔵施設予定地等のための共同墓地の整備

・H29. 9 実施設計
・H29.10 造成工事着手 (予定)
≪H30年度当初供用開始予定≫

アーカイブ拠点施設整備 (県)

震災・事故の記録・教訓等を広く国内外に発信する「学び」と「交流」の場として整備

・H29. 3 基本構想
・H29. 7 基本設計・実施設計着手
≪H32年度開設目標≫

復興祈念公園整備 (国・県)

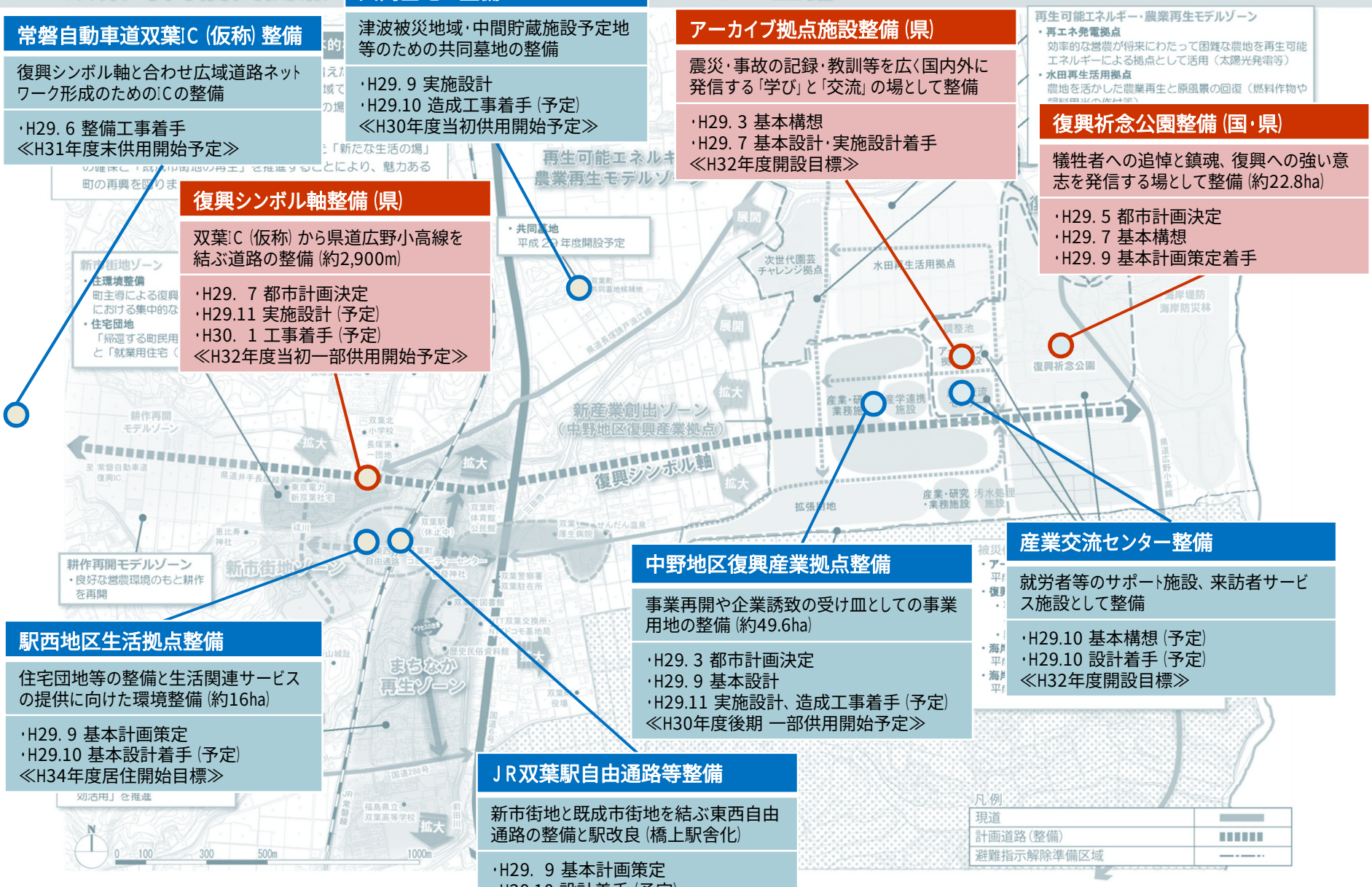
犠牲者への追悼と鎮魂、復興への強い意志を発信する場として整備 (約22.8ha)

・H29. 5 都市計画決定
・H29. 7 基本構想
・H29. 9 基本計画策定着手

復興シンボル軸整備 (県)

双葉IC (仮称) から県道広野小高線を結ぶ道路の整備 (約2,900m)

・H29. 7 都市計画決定
・H29.11 実施設計 (予定)
・H30. 1 工事着手 (予定)
≪H32年度当初一部供用開始予定≫



駅西地区生活拠点整備

住宅団地等の整備と生活関連サービスの提供に向けた環境整備 (約16ha)

・H29. 9 基本計画策定
・H29.10 基本設計着手 (予定)
≪H34年度居住開始目標≫

中野地区復興産業拠点整備

事業再開や企業誘致の受け皿としての事業用地の整備 (約49.6ha)

・H29. 3 都市計画決定
・H29. 9 基本設計
・H29.11 実施設計、造成工事着手 (予定)
≪H30年度後期 一部供用開始予定≫

産業交流センター整備

就労者等のサポート施設、来訪者サービス施設として整備

・H29.10 基本構想 (予定)
・H29.10 設計着手 (予定)
≪H32年度開設目標≫

ＪＲ双葉駅自由通路等整備

新市街地と既成市街地を結ぶ東西自由通路の整備と駅改良 (橋上駅舎化)

・H29. 9 基本計画策定
・H29.10 設計着手 (予定)
≪H31年度末供用開始予定≫